

式 辞

厳しい冬を乗り越え、柔らかな日差しとともに、校庭の桜の蕾が膨らみ始めました。

新型コロナウイルス感染症防止対策の中での卒業式となりましたが、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和二年度（二〇二〇年度）第一四六回豊中市立新田小学校の卒業式を挙行できまことを心より御礼申しあげます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。本日、ここに一二三名が、六年間の前
期義務教育を終え、卒業の日を迎えました。

六年前年の春、真新しいランドセルを背負
い新田小学校の門をくぐった日から六年が過
ぎました。長くもあり、短くも感じられるこ
の六年の月日。きつと皆さんの心の中には、
様々な出来事が、走馬燈の様に浮かんでいる
ことでしょう。

今日の卒業は、皆さん一人ひとりが、小学
校生活を最後まで全力で頑張り通した証しで
す。大いに胸を張ってください。

さて、この一年間、新型コロナウイルス感染症対策で皆さんの生活は大きく変わり、戸惑うことも沢山あったことでしょう。しかし、そんな中でも皆さんは、学習に、運動に、そして、友だち関係でも持てる力を十分に発揮していました。

今から、約百年前、大正時代のことです。今と同じように当時の新型インフルエンザが世界的に大流行しました。世界の人口の約三分の一人の人が感染したと言われています。しかし、人類は知恵を出し合い協力してこの危機を乗り越えました。

前回のパンデミックと同様に、人類が知恵を出し合い協力し行動することによって、今回のパンデミックを克服する日が近いと、私は信じています。

これから先、どんな課題に会いおとも一人一人が幸せな生活を送るためには、目の前で起こっている様々な課題に、皆で知恵を出し合い協力し行動することが大切です。

私は、何よりも、まずは、解決すべき事の問題点を正しく理解することが重要だと考え

ています。そして、物事を正しく理解し、共に生き、協力し合うために、自分の意見を述べることに加えて、相手の考えをしっかりと聞くという、コミュニケーション能力を高めることが大切となってきました。

問題点を正しく理解し、コミュニケーションを高めながら協力し合うことで、どんな行動をすればよいか明らかになってきます。だから、自分の行動を振り返り、改善すべき点を探し求めることが出きるのです。

このような考え方が、皆さんの心に育まれた新田版学習の四本柱なのです。

この学習の四本柱を心の財産として未来社会へ大きな一歩を踏み出してください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。これまで、本校の教育活動にご理解と多大なご協力を賜りましたことに、心より感謝し、改めて御礼申しあげます。

お子様は、未来に向かって巣立ちます。これから義務教育の後期を迎えますが、時には辛いことや苦しいことに出会うこともあるでしょう。そんな時こそ新田版学習の四本柱思い出して、とアドバイスしてあげてください。そして、これからも子どもたちの持つ力を信じて、子どもたちの自立を応援していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、本日、ご臨席頂けなかった、地域の皆様には、長きにわたり、本校の教育に温かいご理解とご支援をお寄せいただきましたことに、職員一同、心から感謝申し上げます。これからも子どもたちを、「地域の宝」として末永く見守っていただきますよう合わせてお願いを申しあげます。

さあ、皆さん、新たな出発の時です。

希望という翼をいっぱい広げ、未来へ大きく羽ばたいていってください。

以上をもちまして、私のお祝いの言葉といたします。

令和三年（二〇二一年）三月二十三日

豊中市立新田小学校

校長 安家 紀子